

メキシコの防災対策へ貢献 建物を破壊せずに検査ができる！

神奈川県企業によるメキシコインフラ事業への進出

国際協力機構（JICA）は9月24日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（2020年第一回募集）」において株式会社ジャスト（神奈川県横浜市、安藤 純二 代表取締役）が提案する「メキシコ国インフラ維持管理における非破壊検査技術の導入にかかる案件化調査（仮称）」を採択しました。

メキシコは地震国であり、1985年と2017年に発生した地震では大きな被害を受けました。メキシコ市政府へのヒアリングによれば、メキシコ市内には1985年以前に建てられた建物が約120万棟あり、災害に対して脆弱な建物が多いと考えられています。また土壌の塩分や湿気により鉄筋の酸化や劣化が進んでいるため、多くの建物の早期点検が必要とされています。

株式会社ジャストの非破壊検査は、建築・土木構造物を破壊することなく、構造物内部を検査することができ、コンクリート柱内の鉄筋の本数を調べる際、「破壊調査」では2人で1日かかる所を、「非破壊調査」では、1人1時間での調査が可能です。さらに、既存の検査方法（目視、破壊検査）よりも正確かつ低コストで検査を実施することができます。



RCレーダー探査機



電磁誘導探査機

本調査では、メキシコ市で一般的ではない建築・土木構造物の維持管理業務における非破壊検査の導入可能性および具体的な活用方法を確認するとともに、インフラの維持管理の高度化・効率化を目的とし、最適なビジネスモデルを検討します。

本事業は、「案件化調査（中小企業支援型）」として実施されます。「案件化調査」は、途上国の開発課題と日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案を支援することを目的としたものです。2012年度から実施されており、2020年第一回分は本年6月に公示を行い、全国で25件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を開始します。

【関連リンク】

各スキーム概要 https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

中小企業・SDGs ビジネス支援事業 採択案件 https://www.jica.go.jp/press/2020/20200924_10.html

【本件に関する問い合わせ先】	日本の元気を世界の元気に
JICA 横浜総務課 担当：大島、橋本、菊池	世界の元気を日本の元気に
TEL:045-663-3252 FAX:045-663-3265	JICA 横浜
e-mail : yictad@jica. go. jp	https://www.jica. go. jp/yokohama/index. html